

令和 6 年度
「鳥取市議会 議会報告会・意見交換会」
報告書

鳥取工業高等学校

鳥取東高等学校

鳥取城北高等学校

鳥取聾学校

あすなろ高等専修学校（クラーク鳥取）

青谷高等学校

令和 6 年 1 1 月

鳥取市議会

鳥取市議会は、「開かれた議会」の実現への取組の一つとして、平成26年度から議会報告会を開催し、議会活動の報告を行うとともに、市民と直接意見交換を行ってきました。本年度は、高校生を対象として開催することとし参加校を募集した結果、6校から応募があり、7月に鳥取工業高校、鳥取東高校、鳥取城北高校、鳥取聾学校の4校と、10月にあすなろ高等専修学校（クラーク鳥取）、青谷高校の2校と、各学校へ出向くなどして生徒たちとの「議会報告会・意見交換会」を開催しました。各校のテーマに沿って意見交換を行い、高校生は積極的に自分の意見を発言し、様々な提案が出されました。

その結果を報告します。

1 開催概要

学校名	鳥取工業高校	鳥取東高校	鳥取城北高校
開催日時	7月4日(木) 16時～17時	7月5日(金) 16時～17時	7月8日(月) 16時～17時
参加生徒数	7人	6人	10人
報告会内容	・議会の仕組み、概要について ・予算、決算審査の審議概要について		
意見交換会 テーマ1	若者が魅力を感じるまちについて	鳥取市がもつ資源を生かし、観光業をさらに盛り上げるには	駅前商店街活性化について
意見交換会 テーマ2	どうしたら鳥取市が盛り上がるかについて	ICカード利用促進を含めた鉄道交通のあり方について	鳥取市の少子化について
意見交換会 テーマ3	-----	耕作放棄地の利活用について	公共交通機関について

学校名	鳥取聾学校	あすなろ高等専修学校 (クラーク鳥取)	青谷高校
開催日時	7月23日(火) 14時～15時	10月15日(火) 16時～17時	10月22日(火) 14時～16時
参加生徒数	4人	5人	8人
報告会内容	・議会の仕組み、概要について ・予算、決算審査の審議概要について		
意見交換会 テーマ1	きこえない、きこえにくい人が暮らしやすいまちづくり	鳥取の交通事情	地元を盛り上げるために
意見交換会 テーマ2	-----	駅前のにぎわいについて	-----

2 議会報告会について

意見交換会の時間を確保するため議会報告は5分程度とし、議会の仕組みや概要、令和6年度予算と令和5年度決算審査の審議概要などについて報告しました。

3 意見交換会について

意見交換のテーマや開催時間等は、各学校と相談して決定しました。意見交換会の進め方は、最初に全員が自己紹介を行った後、模造紙や付箋を活用しながら、参加者全員が発言できるよう1回あたりの発言は簡潔に、他者の発言に割り込まない、否定しない等のルールを決め、話しやすい雰囲気作りに務めながら進めました。最後に、出された意見や要望について、グループごとに発表していただきました。

その結果、高校生ならではの発想や、困りごとなどを直接聴くことが出来、大変有意義な会となりました。意見交換会でいただいた意見・要望等について、特に重要と思われるものについて執行部に伝達し、その回答について、ホームページへの掲載等を行うこととします。

4 意見交換会でのご意見・要望等

令和6年7月4日(木) 鳥取工業高校

テーマ「若者が魅力を感じるまちについて」	
生徒からの意見・要望等	・休日に遊ぶ場所がイオン鳥取北店等に限られており、他にもう少し楽しめるようなスポットが欲しい。 ・地元ならではのもの(例えば、特産品や有名な自然等)を使用し、心が安らぐようなものが欲しい。 ・自分たちの地域の魅力を自覚、自認し、フォトスポットの多いまちにする。Instagramと連携して、グーグルマップに画像をアップする。 ・若者が楽しめる自然を生かした施設が欲しい。例えば、海ならシュノーケリング、カヌー。山ならアスレチック、登山、川遊びなどで、鳥取の自然を知ってもらう。 ・就職したいと思える企業が少ない。企業数が少ない。 ・JR 鳥取駅高架下のレンタサイクルの利用可能な時間を延長して欲しい。 ・車の数が少ない。バスや電車を増やして、県外へのアクセスを良くする。
テーマ「どうしたら鳥取市が盛り上がるかについて」	
生徒からの意見・要望等	・県外の人、外国の人にも、心が落ち着くと思われるような場所をつくり、大きなPRポイントにする。 ・自然を満喫するサイクリングコースが鳥取には少ない。鳥取空港のサイクルステーションが出来ても、山間地域でステーションが少なく、広がりがない。 ・「アニメや漫画の聖地」のように、鳥取をテーマに制作、SNS 発信し、フォトスポットをつくり、有名にして知名度を上げる。 ・鳥取の自然を知ってもらい、発信する。例えば、県外の若者が来て、何かしたいと思うときに、鳥取市がサポートできる仕組みを作っておく。 ・海や山をもっと活用すべき。宝だと思う。自然を感じられるような季節ごとのイベントを。



令和6年7月5日(金) 鳥取東高校

テーマ「鳥取市がもつ資源を生かし、観光業をさらに盛り上げるには」	
生徒からの意見・要望等	・砂丘プリンやソフトクリーム、福部にある夕日の見える温泉等のおすすめスポットをもっと発信できたらいい。 ・砂丘に来た観光客に、砂の美術館にも足を運んでもらいたい。 ・リッチな方向けの戦略として、高級ホテルのような観光資源を増やして、それをメインにしながら、鳥取を宿泊の中心として観光してもらえるようにできるといい。 ・観光資源の認知度を高めていく必要がある。 ・SNSを使って認知度をあげたうえで、さらにテレビ等に扱ってもらうことで、観光としての魅力や認知度が上がるのでは。
テーマ「ICカード利用促進を含めた鉄道交通のあり方について」	
生徒からの意見・要望等	・因美線を利用するとき、鹿との衝突で30分ほどの遅れが出ることがあり、生活に支障をきたす。遅れの軽減と列車の増便を可能にするために、因幡社駅で列車がすれ違う設備の復活を望む。 ・汽車やバス、さじ未来号で通学をしているが、便がなく部活を休むこともある。さじ未来号を汽車の到着時間に合わせて活用できるようにしてほしい。
テーマ「耕作放棄地の利活用について」	
生徒からの意見・要望等	・少子高齢化による跡継ぎ不足や、十分な収入が見込めないことが理由としてある。 ・メインで育てるものとは別の作物を育てるのもいいのでは。 ・いちご狩りなど子ども等に体験をさせることで興味を持ってもらえるのではないかな。 ・花をみてもらったり、子どもが自由に遊べたり、若者にとっても観光やデートでいけるような場所を作っていくのがいいのでは。 ・交付金制度をもう少し充実させたらいいのでは。 ・これからを担っていく若者に伝えるには、SNSをメインに広めていくべき。 ・耕作放棄地そのものをなくしていくために、日本だけでなく海外の人々に農業のことをPRして、興味を持ってもらうということに力を入れた方がいい。



令和6年7月8日(月) 鳥取城北高校

テーマ「駅前商店街活性化について」

生徒からの
意見・
要望等

- ・学生がいけるお店が少ないので、増やしてほしい。
- ・シャッターアートなどで、PR してみてもどうか。
- ・午前中に空いているお店が少ないので、開店時間が早いお店があったらいい。
- ・景観をよくするためにもポイ捨てをなくしたい。
- ・ベンチの数が少ないので増やしてほしい。(特に駅)
- ・家族全員で写真を撮れるよう、カメラをたてる台のようなものを設置してほしい。

テーマ「鳥取市の少子化について」

生徒からの
意見・
要望等

- ・大規模なイベントが少ない。「漫画王国鳥取」や豊かな自然を生かしたイベントを開催していくのがいい。
- ・U ターン者 I ターン者を増やすためにも、お金を出して SNS で広告を出すのもいいのではないかな。
- ・大人になったときに思い出せるよう、義務教育の間に学校の出前授業で子育てに関わる鳥取市の取組等を学ぶ機会を設けるといい。
- ・鳥取で就職したら返さなくてもいいような奨学金の制度があるといい。
- ・防衛大学校のような、国家公務員を養成する学校があるといい。

テーマ「公共交通機関について」

生徒からの
意見・
要望等

- ・鳥取駅のバス乗り場は、他県から来た人にとって分かりづらい。
- ・田舎のバスの便数は外からの人の流入に向かない。
- ・100 円バスくる梨は学生からするとすごくありがたいので、今後も維持してほしい。
- ・自動車賃が高いので、支援があるといい。
- ・通学時間帯(朝)の乗客数が多いので、車両を増やしてほしい。
- ・12-15 時ごろは特急しかなく乗車賃が高いので、昼間に特急以外も運行してほしい。
- ・現金利用も残しつつ、IC カードを利用できるところを増やしてほしい。
- ・鳥取駅に自転車を借りられるところを作ってほしい。
- ・JR とバスを乗り継いで目的地に行くとき、あまり待ち時間なくスムーズに行けるよう、JR とバスが連携してほしい。



令和6年7月23日(火) 鳥取聾学校

テーマ「きこえない、きこえにくい人が暮らしやすいまちづくり」

生徒からの
意見・
要望等

- ・公共交通の車内アナウンスが分からないので、文字表示にしてほしい。
- ・スーパーマーケットでレジ袋の有無を聞かれても、何を言われているか理解できなかった。コミュニケーションの方法を考えて欲しい。
- ・コンビニには「電子レンジ温めの有無」などのコミュニケーション支援ボードがある。スーパーマーケットにもあるといい。
- ・買い物をする時に、会話が通じないことがあるので、筆談などコミュニケーションを図るための環境整備をしてほしい。
- ・新幹線の切符購入について、障がい者割引を利用したい場合にインターネット決済は1つの窓口で完結せず、不便さを感じている。
- ・JRのICカードは、障がい者向けICカードが用意されているが、スマホとの連携が不可能である。マイナンバーカードがあるのだから、スマホ用のアプリケーションと連動するなどして、利便性の向上を図れないか。
- ・鳥取聾学校の周知度が低いのではないか。聴覚障がいについて、悩まれる方や、困っている方の相談窓口としての機能を発揮すべく、周知の拡大を期待している。



令和6年10月15日(火) あすなろ高等専修学校(クラーク鳥取)

テーマ「鳥取の交通事情」

生徒からの
意見・
要望等

- ・車依存社会から脱却が必要。
通勤・通学時間帯の渋滞が多く、鉄道中心がいいと思う。
- ・JRの列車の本数や駅が少ないため利用者が少なく悪循環となっている。
- ・行徳寿町から中央病院行のバスが1日2便で診察の時間に間に合わない。
- ・公共交通の利用できないエリアの方でも、必要なときに必要なところへ行けるようなシステム作りが必要。
- ・鉄道やバスの利便性など公共交通がしっかりしていれば、若者の定住や移住者の増加が見込めるのでは。
- ・路線バスの支払いをキャッシュレス化してほしい。

テーマ「駅前のにぎわいについて」

生徒からの
意見・
要望等

- ・駅前のシャッター街がにぎわえばいい。
- ・学生が車を待つ間に楽しく過ごせる場所が欲しい。
- ・若者を呼び込めるような施設を
(日吉津より大きい映画館、屋内遊園地、スイーツ、ラウンドワンやタワレコなどのチェーン店 など)
- ・駅前のお店を紹介したり看板を設置して入りやすくする。
- ・JRを生活手段として利用している学生や高齢者層のために、スーパーや娯楽施設を駅の近くに設ける。



令和6年10月22日(火) 青谷高校

テーマ「地元を盛り上げるために」

生徒からの意見・要望等

生徒から2つの研究テーマの報告がありました。

1点目の、空き家を活用した『青谷プチ移住体験』は、移住を検討している子育て世代をターゲットに空き家を活用した移住体験をしてもらう取組で、移住体験としては、空き家のリフォーム体験、青谷海岸でのサーフィン体験、紙すき体験など。これらのことで地域へお金を循環させ、移住体験者からのSNS発信で更なる集客や移住へつなげていこうとする取組でした。

2点目の、『青谷満喫プランの作成』は、上寺地遺跡公園では発掘クッキーを土産物として試作することとし、青谷海岸ではシャワー整備によりアクティビティレンタルなど近畿圏からの観光客を呼び込もうとするもの、獅子岩周辺ではサザエの収穫を海女さん体験でもらおうとするものなど、青谷の観光名所を探して観光プランを作成する取組でした。

意見交換では、この2つのビジネスプランを実現していくためにどのように取り組んでいけばいいのか話し合いが行われ、生徒からは、「空き家リフォームの支援制度はあるのか?」「移住者が青谷の企業に就職する時の支援策はあるのか?」「空き家を宿泊施設にしてもいいのか?」「どのように宣伝していけばいいのか?」「人が集い遊べる大きな公園を作ってほしい。」「観光スポットとしてキャンプ場を作ってほしい。」などの質問や意見があり、議員がアドバイスをを行い、地域を盛り上げていくための意見交換が熱心に行われました。

